

入居者にしてもらったことを

良い習慣として受け継いで行きたい！

湯河原へゆつゆつの里 古館 貞雄様 (78歳) 平成27年入居時一人入居

ありし日の妻との日常が
一番の思い出

28歳で再就職しましたが、その会社が吸収合併されることに。そこでアルミ製品の会社の新工場の立ち上げを命じられました。そんな激動の会社生活が始まる年に、近所のおばさんに紹介された妻と結婚しました。仕事はやりがい



ありし日の奥様と思い出のハウステンボスで

あり、がむしゃらに頑張りました。彼女が本当によく支えてくれました。5人兄妹の中でも一番優しい性格で、とても素直で正直なところが気に入りました。どんなに疲れていても必ず好きな料理を作ってくれました。喧嘩はしたことがありません。その彼女が57歳の大晦日に急に具合が悪くなり、わずか半月の間に亡くなってしまいました。本当に辛くて、辛くて途方にくれました。半年が経つてようやく気持ちに折り合いがつき、これからはどう生きて行こうかと考えられるようになりました。

二人でハウステンボス、沖縄、東北ねぶた祭りなど旅行したこと思い出しますが、二人の日常の暮らしが今も一番の思い出です。

**本気で将来のことを
考えなければ！**

これからのことを考え出したやさきに、親友を膵臓癌で亡くしま

した。その時に、年を重ねる事実を目を背けず、認めることが大事だと気がつきました。初めての施設見学は湯河原でしたが、初めて見る施設の第一印象は、自分が持っている老人ホームのイメージと全然違いました。建物も入居者もとても明るくてびつくりしました。入居者同士の挨拶や声掛けなどがとても気持ちがよく印象的でした。

見学や体験入居などで入居者とお酒を飲みながらたくさん話をさせてもらいました。体験談を聞いて自由に生活をしている様子がわかりました。親切にも管理費明細も見せてもらい、とても参考になりました。そして、ここなら、最後まで安心で自由な生活ができるかと納得できました。

**入居者にしてもらった親切を、
今度は自分が……**

入居してから、将来の不安がなくなりました。食事の心配だつてしなくとも良い。毎朝5時に起床、幕山公園まで散歩して7時に帰ります。里での楽しみの一つはパークゴルフ。4人一グループで、車を出して一緒に行きます。これまでも、色々声をかけて、何人誘っ



たかわかりません。行くと楽しいし、人と人がつながるでしょ。

それから、カラオケ。入居者から「カラオケは心で歌えばいいんだよ。上手下手は二の次三の次」と言われて、なるほどと思ったことがありません。大勢集まると最初も人間関係で気を使うこともあるかも知れないが、必ず上手く付き合えるようになります。それから、一杯会など、飲む機会も楽しいので参加しています。

入居してから心がけていることは、新しく入居した人に出来るだけ、話しかけるようにしようということ。おせっかいかもしれませんが、自分だって、入居する前や入居して間も無くの間は不安なことがたくさんありました。だから、当時受けた親切を今度は自分が返す番だと思っています。「反対側の立場にたつたらどうか」と考える癖は、仕事で身につけたものですが、それは今も生きているのかな。